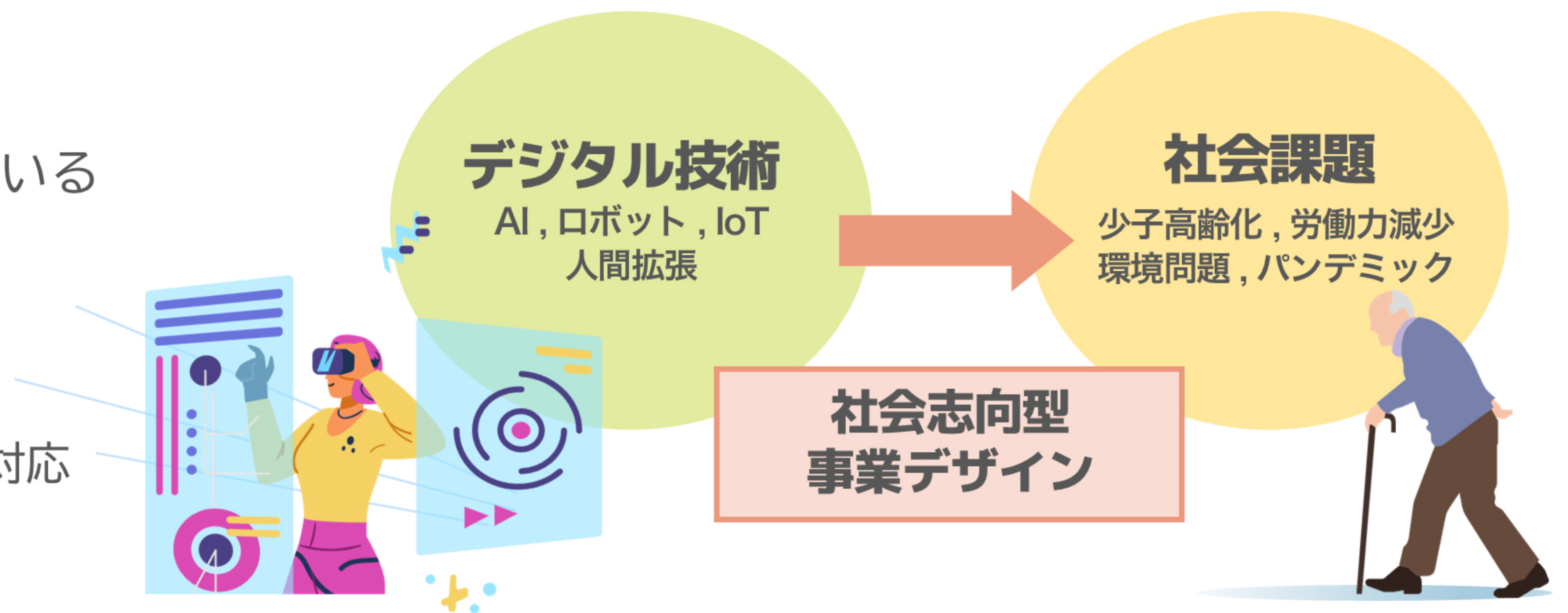


デジタルと社会をつなぐデザイン研究会

▶ デジタル技術を活用した社会志向型事業のデザインの課題や必要な取り組みを議論・検討するコミュニティの構築を目指す

本研究会開催の背景

- 社会志向型事業のデザインの重要性が高まっている
- 新たなデザイン課題の顕在化
 - ・ 社会志向型事業の受容性、社会価値の評価方法
 - ・ 社会価値と事業価値の両立
 - ・ デジタルの活用に伴う負の影響への懸念に対する対応
- 社会価値実現に向けたデザイン手法の登場



知見や実践の機会の不足、継続的な実践に向けたリソース配分が十分に実施されていない

➡ 課題意識を共有する多様なステークホルダーと課題や取り組みの検討を行うコミュニティ構築を目指す

これまでの実施内容

企業のデザイン部門や新規事業開発部門、大学の産学連携担当者等を中心に、各回25名程度が集まり、議論を展開

第1回 デジタルと社会をつなぐデザインの実践・普及に向けた現状

- 講演者 社会志向型事業デザインの先進的な取り組みの実践と課題を事例紹介
大日本印刷株式会社 松尾 佳菜子氏、鈴木 英恵氏
株式会社日立製作所 原 有希氏、平井 千秋氏
- WS 本テーマに関する課題感や取り組むべきことについて議論



第2回 地域共創を通じたスマートシティ開発

- 講演者 柏の葉スマートシティのまちづくり、市民共創活動について紹介
一般社団法人UDCKタウンマネジメント 大山 浩太氏
一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンター 八崎 篤氏
- WS リビングラボの可能性と課題について対話



第3回 地方創生に関する取り組みの課題

- 講演者 地方の地場産業育成、持続性向上に向けた取り組み事例を紹介
早稲田大学 創造理工学部 野中 朋美 教授
株式会社良品計画 河村 玲氏
- WS 地方創生に関する取り組みの課題やアプローチについて議論



第4回は12月9日に実施します

参加者の声

同じような課題を持ち、興味や関心のある方々が多く、刺激になった

継続参加メンバーもあり、自然に一定のコミュニティが形成された感じもあり、本研究会の課外活動的な動きが生まれる兆しがでてきた

デジタル、アナログ、個人、社会という世界がデザインの力でひとつにまとまっているように感じられるようになってほしい